
社会とのパートナーシップに向けて



お茶の水女子大学は、学部は文教育学部、理学部、生活科学部の3学部、大学院は文理融合型の人間文化創成科学研究科の1研究科からなる、学生総数3000余名(うち大学院生1000余名)の国立の女子大学です。創立136年の伝統と数々の女性リーダーを輩出してきた実績のもと、教員は日々、教育や研究に励んでおります。

一方、平成16年度の国立大学の法人化にともない、教育、研究に続く国立大学法人の第3の使命として、社会貢献が掲げられました。本学においても、国立大学法人お茶の水女子大学社会貢献ポリシー(平成19年5月制定)にて、社会との日常的、組織的な連携を通じて、教育・研究から得られた成果を社会に還元するとともに、教育機能を社会に還元することにより、大学の第3の使命である社会貢献をより積極的に果たすことを理念として掲げております。

このような状況のもと、本学の知的財産本部を中心に、研究成果の社会還元を目標にして、学内シーズの発掘を行ってきました。その結果、工学部や医学部、農学部などをもたず、基礎研究が主体の本学においても本学固有の特色のある研究成果(シーズ)があり、その活用も可能であることがわかってきました。たとえば、理学系からは、医薬関係でベンチャー創出を目指すもの、国内外の研究機関と共同研究を目指すもの、医薬品開発ツールとなるシステムソフト技術等、また生活科学系からは、美白のためのサプリメント、ブレンド茶等、さらに人文科学系からは、心理学理論を応用した子どもの理数離れ対策用教育ソフト、発達心理学の知見に基づく幼児向け教育支援ソフト開発など、生活に密着したシーズも確認されています。

本冊子は、このような本学独自の特徴ある研究を、研究者情報とともに集めたものです。研究紹介集は今までに2回(2007年および2009年)発行してきましたが、今回は装いを新たにするとともに研究者情報も含めるようにしました。また、グローバル化に対応するように英語版も用意しました。

本冊子が社会とのパートナーシップを深める上で、皆様のお役に立つことができれば幸いです。

2011年9月

国立大学法人お茶の水女子大学 理事(副学長)
国際・研究機構長
河村 哲也
